

PacketiX VPN

4.0

大規模なVPN構築は時間もコストもかかる・・・

PacketiX VPNは中小規模向け？

# そう思っていないませんか？

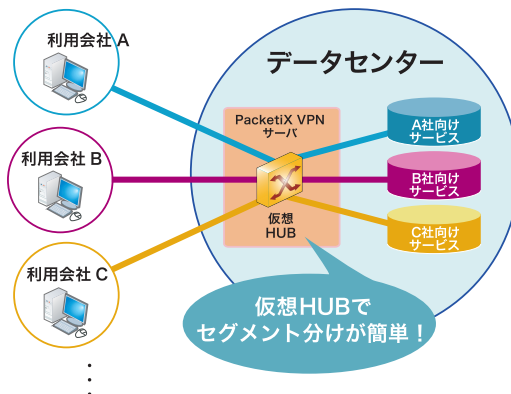
**PacketiX VPN** (パケティックス ブイピーエヌ) は、中小規模のビジネス用のネットワークはもちろん、大企業やインターネットサービスプロバイダなどが必要とする広帯域および 高い負荷が発生する高度なネットワークなどのすべての範囲をカバーすることができる、安定性が高く拡張性および柔軟性に富んだVPN ソフトウェアです。

## マルチテナント方式のASPサービス提供を容易に

PacketiX VPNはSaaSやクラウドなどといったサービスのマルチテナント方式での展開を容易に実現出来ます。

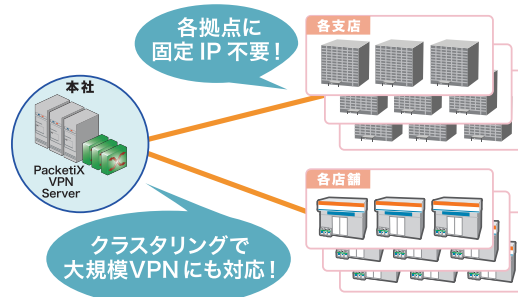
レイヤ2ネットワークを仮想化をしているため、提供するアプリケーションやサービスの柔軟な開発が可能です。

また他のVPNと違い、HTTPS通信が可能な環境であればVPNサーバへ接続出来る為、顧客側のルータやファイアウォール等への設定追加やネットワークの再設計などが不要でかんたんにサービスの提供を行うことが可能です。



## 大規模なプライベートネットワークを低コストで導入

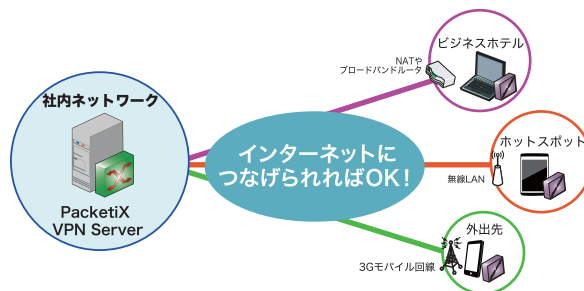
PacketiX VPNは多拠点のVPN構築でも、各拠点毎の固定IPアドレスは不要です。また、インターネットが出来る環境であれば既存のネットワーク環境の設定を変更することなく本社と通信出来るVPNを構築する事が出来、手間がかかりません。



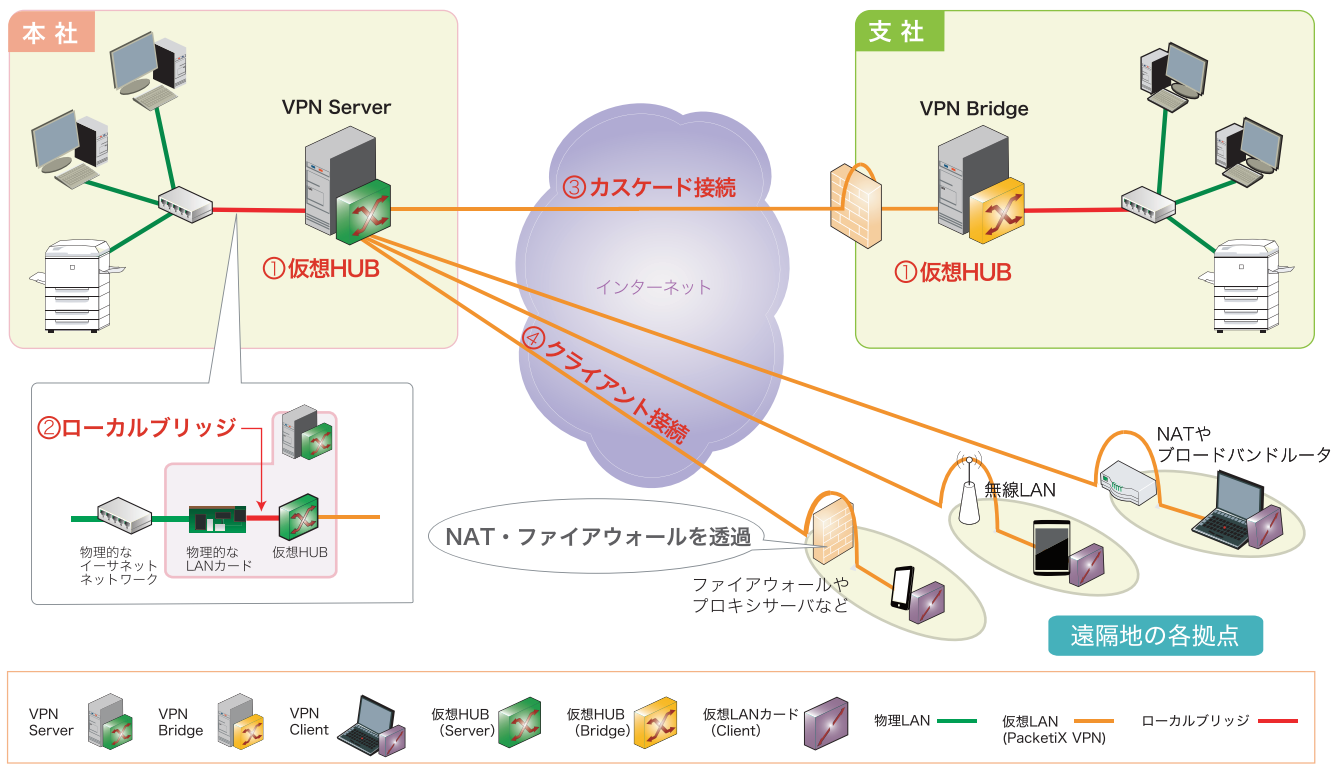
## スマホなど外出先からのリモートアクセス環境をかんたんに導入

PacketiX VPN はL2TP/IPsec, OpenVPN, MS-SSTP, L2TPv3, EtherIPといった様々なプロトコルがサポートされており、iPhoneやAndroid OSを搭載した各種スマートデバイスはもちろん、インターネットが出来る環境であれば外出先のどこからでも社内へセキュアにリモートアクセスする事が可能です。

また、各デバイスに専用ソフトウェアをインストールする必要もなく、リモートアクセス環境導入の手間を大きく削減します。



本社・支社・遠隔地の各拠点の全てノードが、同一のレイヤ2ネットワークに接続されます。



**①仮想HUB**

VPNに参加する全ての機器は、仮想HUBに接続されます。用途別に複数の仮想HUBを用い、それぞれユーザー認証、アクセス制御等を提供します。

**②ローカルブリッジ**

OA機器やネットワーク接続型の特別な機器、またはネットワーク全体をVPNに参加させる際に使用します。ローカルブリッジで接続されたネットワーク上の機器は、VPN Clientソフトウェアを導入する必要なくVPNに参加する事が可能です。

**③カスケード接続**

カスケード接続は、仮想HUB同士を接続するための機能です。ローカルブリッジによってローカルネットワークと接続された仮想HUB同士をカスケード接続することで、拠点間をVPNで結ぶことができます。

**④クライアント接続**

カスケード接続がネットワーク全体をVPNに参加させるのに対して、クライアント接続ではVPN Clientが提供する仮想LANカードを用いてPC単体と仮想HUBとをVPNで結びます。

PacketiX VPN ラインナップ

どんな環境でも容易に導入可能 柔軟性の高いL2-VPNプラットフォーム

ライセンス

Standard Edition

参考価格 99,750円(税込)  
型番 PX3-STD-SUB1Y  
ライセンス + サブスクリプション(1年)



サブスクリプションについて

1年間または3年間のサブスクリプション契約が製品ライセンスに標準で含まれています(延長可能)。サブスクリプション契約に加入することで、テクニカルサポートやセキュリティパッチおよび不具合修正、新機能の無償提供、次期バージョンリリースの際の無償バージョンアップ等が提供されます。

アプライアンス

小規模向け - Standard Edition

同時接続数 30



中規模向け - Professional Edition

同時接続数 100



大規模向け - Enterprise Edition

同時接続数 300



PacketiX VPN アプライアンスの詳細はWebをご覧ください。

<http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/appliance/>

# PacketiX VPN の機能

## VPN プロトコルサポート

### ● L2TP over IPsec プロトコルサポート

以下のようなデバイスに標準搭載されている L2TP/IPsec VPN クライアントからの VPN 接続を受け付けることができます。各デバイスには、特殊なソフトウェアをインストールする必要はありません。

- ・iPhone
- ・iPad
- ・Android
- ・Windows Phone
- ・Windows XP / Vista / 7 / 8 / RT
- ・Mac OS X



### ● OpenVPN プロトコルサポート

OpenVPN互換サーバー機能は OpenVPN 社の OpenVPN ソフトウェアと同様に動作します。既存の OpenVPN クライアントのソフトウェアはそのまま、新たなソフトウェアをインストールすることなく、PacketiX VPN Server 4.0に VPN 接続できます。リモートアクセス型の L3 VPN のほか、拠点間接続型の L2 VPN もとても簡単に実現できます。

### ● Microsoft SSTP VPN プロトコルサポート

Windows Vista / 7 / 8 / RT に標準で搭載されている SSTP (Secure Socket Tunneling Protocol) から PacketiX VPN Server 4.0 に SSL-VPN で VPN 接続 (PPP over HTTPS) することができます。

### ● L2TPv3 / EtherIP over IPsec プロトコルサポート

VPN ルータ製品には、L2TPv3 または EtherIP を IPsec で暗号化して通信する機能が搭載されています。これらの VPN ルータ製品の安価なバージョンは、1対1 の P2P 型 VPN を構築するのは簡単ですが、複数拠点をセンターでまとめるスター型 VPN を構築するのはとても難しく、そのような VPN の構築には高価なバージョンを購入する必要があるビジネスモデルとなっています。

そこで、これらの市販ルータの安価なバージョンを各拠点に設置し、センター側に PacketiX VPN Server 4.0 を動作させれば、安価で簡単に拠点間 VPN を構築することができます。



ルータとの間の VPN 通信に対応

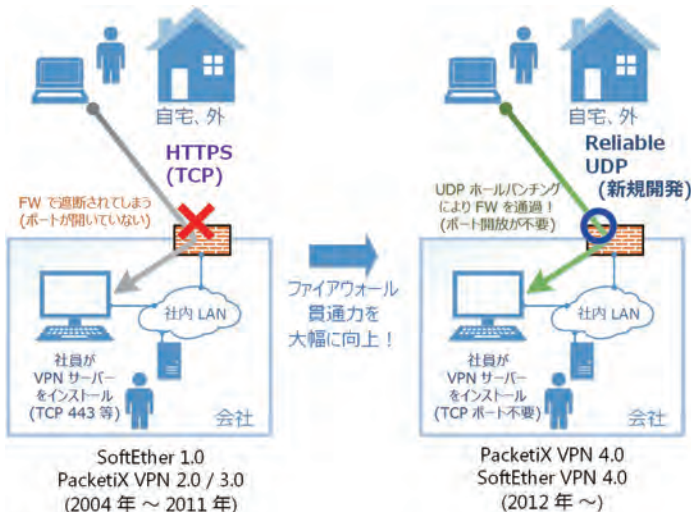
## 接続性の強化

### ● ダイナミック DNS 機能

グローバル IP アドレスの枯渇に配慮するため、PacketiX VPN Server に「ダイナミック DNS 機能」を搭載しました。ダイナミック DNS 機能はデフォルトで有効になっています。ダイナミックDNS機能は現在の PacketiX VPN Server が動作しているコンピュータのグローバル IP アドレスを、ソフトイーサ社が運用するダイナミックDNSサーバーに対して定期的に通知します。

### ● NAT トラバース機能

ネットワーク管理者にそのような手間をかけずに社内の自分のコンピュータに VPN サーバーをインストールし社外から接続したいという需要に応えるため、PacketiX VPN には強力な「NAT トラバース機能」が搭載されています。



### ● VPN over ICMP, VPN over DNS 機能

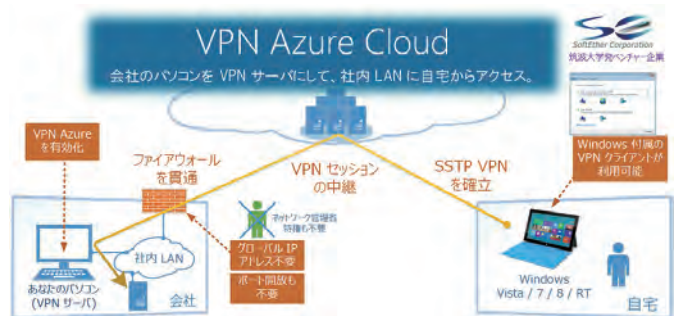
PacketiX VPN Client / Bridge が PacketiX VPN Server との間で VPN 通信を行おうとする場合、TCP と UDP の両方のプロトコルが通信できない場合のために、VPN を「ICMP」(いわゆる Ping) および「DNS」パケットにカプセル化して通信する機能が実装されています。

この機能により、ネットワーク経路上のルータやファイアウォールなどが TCP や UDP の通信を遮断してしまう場合でも、ICMP または DNS の通信が可能であれば VPN 接続を行うことができます。

### ● VPN Azure クラウドサービス機能

ソフトイーサ社はインターネット上で VPN Azure クラウドを運用しています。VPN Server は VPN Azure クラウドに一度接続すれば、それ以降は「abc.vpnazure.net」(abc はユニークなホスト名) というホスト名が割当てられます。このホスト名は実際にはソフトイーサが運営するクラウドサーバーのグローバル IP アドレスに関連付けられています。

VPN クライアントはこの VPN Azure ホストに対して接続することにより、VPN Azure は通信を折り返し中継して VPN サーバーに届けます。



## 通信速度の向上

### ● WAN 高速化機能 (UDP アクセラレーション機能)

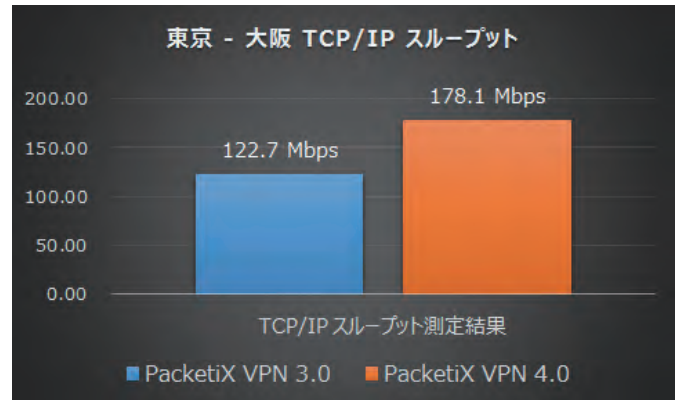
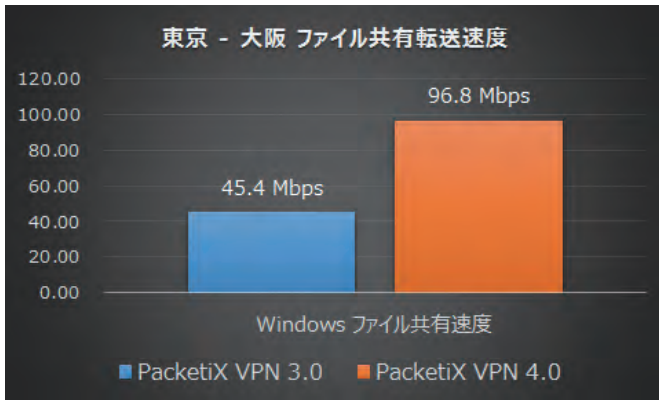
VPN Server と VPN Client / Bridge との間では、最初に HTTPS ベースで VPN 接続が確立されます。VPN 接続が一端確立されると、両者は互いに UDP パケットを物理的に送り合い、UDP による疎通が可能であるかどうかを検証します。

もし UDP による疎通が可能であることが検出された場合は、それ以降は、HTTPS トンネルはキープアライブの目的でのみ使用され、VPN 通信のペイロードは UDP 経由で送受信されるようになります。

### ● WAN 高速化機能による VPN 通信の速度向上の実測例 (東京 - 大阪間)

WAN 高速化機能を有効にした場合は、従来の場合と比較して、特に「帯域が広いにもかかわらず、遅延が大きい」ような WAN 環境において速度向上の威力を発揮します。

たとえば、日本国内では東京 - 大阪間のインターネットで 20 ミリ秒程度の遅延があります。このような環境で、NTT 東日本・西日本のフレッツ・サービス (NGN) を両方の拠点で契約し、インターネットを経由して通信を行った場合の高速化の割合を示した実測値は以下のとおりです。



## セキュリティ

### ● HTTP アクセスログ機能

TCP 上で行われた通信が HTTP である場合は、自動的に HTTP ヘッダを解釈し、その結果をパケットログに記録します。たとえば VPN 経由で社内のイントラネット Web サーバーや社外の一般の Web サイトにアクセスした場合は、アクセス先の URL が時刻や IP アドレス、ユーザー名とともに記録されます。

### ● アクセスリストにおける HTTP リダイレクション機能

ユーザーが仮想 HUB を経由して通信を行おうとした場合に、その通信内容がアクセスリストに一致した場合は、特定の URL に HTTP リダイレクションを行うよう強制的にアクセス元の VPN クライアントに応答します。

### ● アクセスリストにおけるユーザー名の一括指定

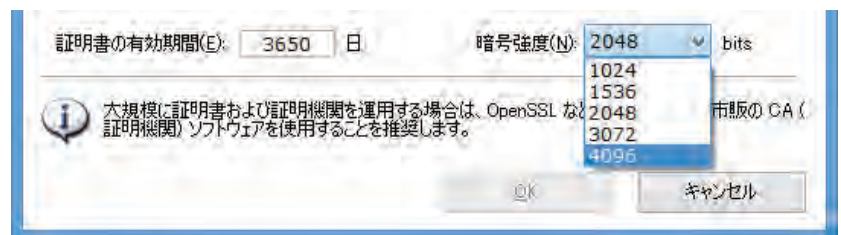
ユーザー名直接指定の代わりに "include:" または "exclude:" の後にユーザー名のリストを記載したテキストファイルのファイル名を書くだけで、アクセスリストは 1 件のみ登録し、そのアクセスリストの一致条件として大量のユーザーリストを指定することが可能です。

### ● アクセスリストのクローン機能

すでに存在しているアクセスリストエントリをクローンして、フィールドの値はそのままに新しいアクセスリストエントリを作成することが可能です。

### ● デフォルト暗号強度の 2048 bit への強化

PacketiX VPN で生成される RSA 証明書・秘密鍵のサイズは、従来のバージョンでは 1024 bit でした。今後 20 年間程度安心して利用できるようにするため、PacketiX VPN 4.0 ではデフォルトで 2048 bit の証明書・秘密鍵が生成されるようになりました。



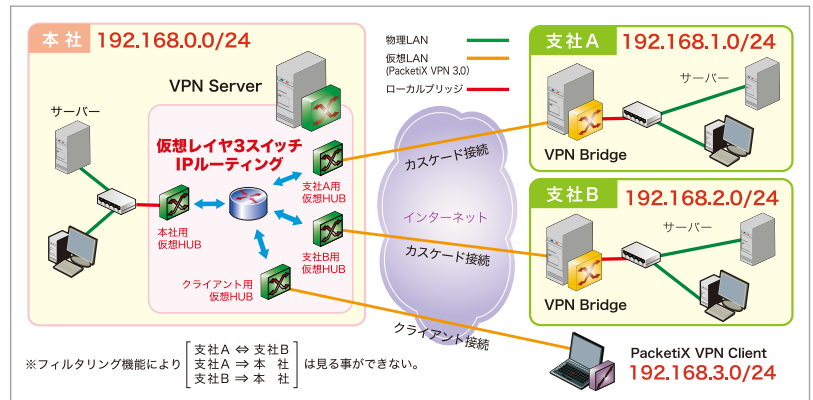
生成される RSA 証明書と秘密鍵のサイズはデフォルトで 2048 bit に

### ● SecureNAT の仮想 NAT セッション数のクォータ機能

SecureNAT における仮想 NAT の TCP, UDP, ICMP セッション数のプライベート IP アドレスあたり最大本数を指定できるようになりました。

## 仮想レイヤ3スイッチ

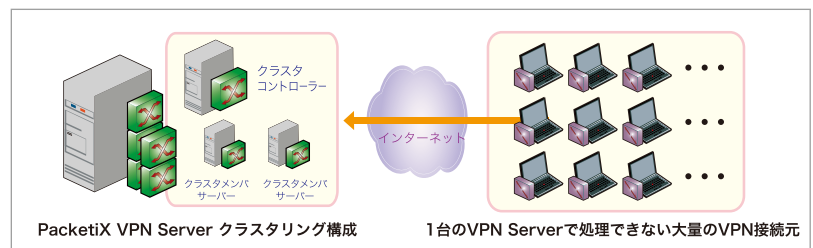
仮想レイヤ3スイッチは、独立したレイヤ2ネットワークである仮想HUB同士をIPルーティングによって接続します。仮想レイヤ3スイッチに登録した仮想HUBには、それぞれ仮想的なインターフェイスが割り当てられ、他の仮想HUBへのゲートウェイとして動作します。また仮想HUB毎に設定可能なアクセスリスト機能(パケットフィルタリング)を併用することで、拠点や端末個別のアクセス制限も可能です。複数の拠点がある大規模なVPNや用途別・権限別に仮想HUBを分けたいネットワーク等で、柔軟なネットワーク設計を行うことが可能です。



※ 仮想レイヤ3スイッチを使用した場合、通信可能なプロトコルはIPv4をベースとしたレイヤ4以上のものに限られます

## クラスタ ※Standard Editionでは使用できません

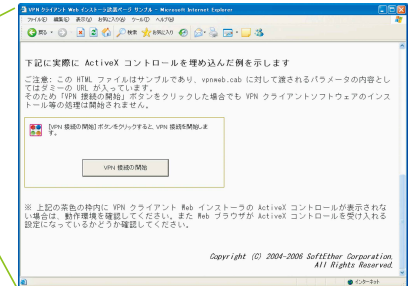
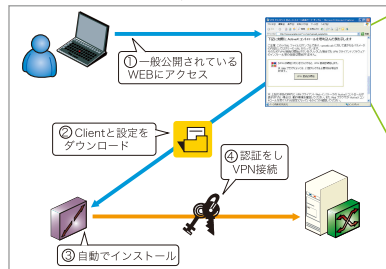
同時接続が1,000を超える大規模環境において、ロードバランシングによる並列処理により高い通信スループットを実現します。またクラスタ内のメンバサーバーが停止しても、自動的に他のサーバーに処理を引き継ぎサービスを継続します。



## 簡易インストーラ・WEBインストーラ作成キット

多数のVPN Clientを利用する環境において、各エンドユーザー端末への導入・設定を行う手間を軽減するための機能を提供します。管理者は、共通の内容を記録した設定ファイルを用意し、WEBサーバーやファイルサーバー上にアップロードするだけで準備が完了します。エンドユーザーは、指定されたWEBアドレスから、1Clickで、インストールの実行から初期設定までが完了します。

### WEBインストラクター利用イメージ



## ワンストップでスピーディに運用できるアプライアンス製品 - EasyBlocks PacketIX VPN アプライアンス 3つのメリット

EasyBlocks PacketIX VPN アプライアンスは、PacketIX VPN 4.0をワンストップでスピーディに運用できるアプライアンス製品シリーズです。中でも、小型・堅牢・低消費電力を誇る小型サーバーをハードウェアとしたStandard EditionおよびProfessional Editionには「SSDレス」「冗長化対応」「Syslog転送機能」の3つの大きな特長があります。拠点間などの小規模なVPN環境を簡単・堅牢に構築することができます。

### SSDレス・RAMディスク動作による堅牢性

EasyBlocks PacketIX VPN アプライアンス Professional EditionおよびProfessional Editionでは、弊社小型サーバをベースハードウェアとして採用しており、同製品の小型・堅牢・低消費電力の特徴を引き継いだ製品です。更にアプライアンス化においては、SSD(Solid State Drive)を排除し、

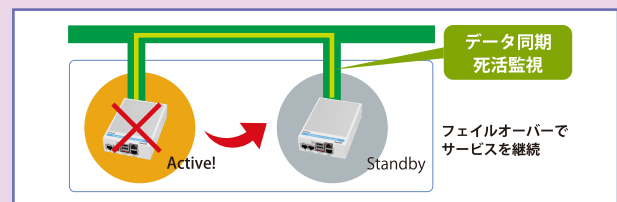
#### 故障要因を徹底排除



全ての機能を本体FlashROMに格納するファームウェアに含めました。その結果、SSDレス・RAMディスク動作による、より堅牢性の高い運用が可能になっています。

### 冗長化 (HA) 機能による可用性の向上

オペレーションミスのような予期せぬ停止やファームウェアアップデート等のメンテナンスにおける、やむを得ぬ停止に備えて冗長化 (HA) 機能を搭載しています。本製品の冗長化は、ルータ等で広く使われているVRRP(Virtual Router Redundancy Protocol)に加えて、設定及びログファイルの同期機能を実装することで実現しています。稼働・待機の計2台構成でシステムを構築することができ、切り替わりの際にはメールによる通知が可能です。



### Syslog転送機能 (アプライアンスの独自機能)

本製品独自にログファイルの内容をSyslogサーバーに転送する機能を実装しています。EasyBlocks Syslogモデルをご参照ください。

## 販売形態

### 参考価格

#### ● PacketiX VPN 4.0 ソフトウェアライセンス

ラインナップ	同時接続数		ライセンス価格 ※2	
	クライアント接続	カスケード接続	サブスクリプション1年	サブスクリプション3年
Standard Edition	30	1	99,750円(税込)	164,587円(税込)
Professional Edition	100	3	157,500円(税込)	259,875円(税込)
Enterprise Edition	300	9	630,000円(税込)	1,039,500円(税込)
Ultimate Edition ※1	無制限	無制限	個別見積	個別見積

※1 事前にヒアリングさせて頂き、用途・接続数・規模に応じてお見積もり致します。ヒアリング内容に追加があった場合は、内容に応じて追加のお見積もりを致します。

※2 ライセンスには、1年間または3年間の初回サブスクリプション契約が標準で含まれています。

#### ● 追加接続ライセンス ※3

ラインナップ	追加ライセンス数		ライセンス価格
	追加クライアント接続数	追加カスケード接続数	
追加クライアント接続ライセンス	1	-	12,600円(税込)
	10	-	100,800円(税込)
	100	-	756,000円(税込)
追加拠点間接続ライセンス	-	1	157,500円(税込)
	-	10	1,260,000円(税込)

※3 追加接続ライセンスは、すでに PacketiX VPN Server 4.0 Home Edition / Small Business Edition / Standard Edition / Professional Edition / Enterprise Edition の製品ライセンスをお持ちのお客様か、または、それらの製品ライセンスを同時にご購入のお客様にご利用いただけます。単体ではご購入いただけません。

#### ● EasyBlocks PacketiX VPN アプライアンスシリーズ ※4, 5

	1年保証モデルラインナップ	3年保証モデルラインナップ	ソフトウェアライセンス無し
Standard Edition	オープン 価格 詳細はお問い合わせください。		
Professional Edition			
Enterprise Edition			

※4 アプライアンスでPacketiX VPN 4.0 Ultimate Editionの利用をご希望の場合は、別途ご相談となります。

※5 アプライアンス製品各ラインナップにおける1年ないし3年の「保証」とは、具体的に次のふたつのサービスを指します。

- ① ハードウェアのセンドバック保証
- ② ソフトウェアライセンスのサブスクリプション  
(ソフトウェアライセンス無しのモデルを除く)

## サブスクリプション契約

弊社は、お客様に対して、「サブスクリプション」サービスを提供します。ライセンスには、1年間または3年間の初回のサブスクリプション契約が標準で含まれています。標準のサブスクリプション契約が満了した後、継続を希望される場合は、1年または3年ごとにサブスクリプション契約を更新することができます。

#### ● サブスクリプション契約のサービス内容

1. セキュリティパッチの無償提供 (2 営業日以内)
2. 不具合の修正又は新機能の無償提供
3. 無償のメジャーバージョンアップ
4. 弊社からサポートを受ける権利
5. 弊社が十分なサポートを提供しない場合に、ソフトイーサ株式会社にサポートを要求する権利
6. ソフトイーサ株式会社による個別カスタマイズサービス (内容により無償・有償を検討します)  
その他詳細はWebをご覧ください。  
[http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/3\\_0/subscription.html](http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/3_0/subscription.html)

## 注意事項

#### ● PacketiX VPN 2.0, 3.0 および 4.0 の混在について

PacketiX VPN では、2.0 以降の各メジャー・バージョン間で互換性を維持しています。

PacketiX VPN Server 4.0 に PacketiX VPN Client / Bridge 3.0 や 2.0 から接続すること、およびその逆の接続も可能です。

#### ● Standard Edition の機能制限

次の機能は利用できません

- Radius 認証機能
- NT ドメイン認証機能
- syslog 転送機能
- パケットログ保存機能
- クラスタリング機能

その他制限

- 登録可能なユーザーIDは30個まで

# 仕様

## 対応OS

### ● Microsoft Windows (32 bit 版および 64 bit 版)

Windows 98 / 98 SE / ME / NT 4.0 SP6a / 2000 SP4 / XP SP2, SP3 / Server 2003 SP2 / Vista SP1, SP2 / Server 2008 SP1, SP2 / 7 / Server 2008 R2 / 8 / Server 2012 およびこれらの派生システム

### ● Linux Kernel 2.4 / 2.6 / 3.x (32 bit 版および 64 bit 版)

対応 CPU: Intel x86, Intel x64 / AMD64, ARM EABI, ARM legacy ABI, MIPS Little-Endian, PowerPC, SH-4

### ● FreeBSD 5、6、7、8、9、10 (32 bit 版および 64 bit 版)

対応 CPU: Intel x86, Intel x64 / AMD64

### ● Solaris 8、9、10 (32 bit 版および 64 bit 版)

対応 CPU: Intel x86, Intel x64 / AMD64, SPARC

### ● Mac OS X Tiger バージョン 10.4、10.5、10.6、10.7、10.8 (32 bit 版および 64 bit 版)

対応 CPU: Intel x86, Intel x64 / AMD64, PowerPC, PowerPC G5

## アプライアンス ※VPN Server または、VPN Bridgeが利用可能です

### ● 小規模向けモデル - Standard Edition

ネットワーク	1000Base-T x 2ポート
寸法(mm)	101(W) x 142.1(D) x 41(H)
重量(g)	350
動作条件	0°C ~ +45°C
電源	ACアダプター
消費電力※	アイドル時 10.0W 高付加時 13.0W
動作時許容周辺温度	0°C ~ +45°C

### ● 中規模向けモデル - Professional Edition

ネットワーク	1000Base-T x 4ポート
寸法(mm)	194(W) x 179(D) x 42(H)
重量(g)	1,255
動作条件	0°C ~ +50°C
電源	内蔵AC電源
消費電力※	アイドル時 12.0W 高付加時 15.0W
動作時許容周辺温度	0°C ~ +50°C

### ● 大規模向けモデル - Enterprise Edition

ネットワーク	1000Base-T x 4ポート
寸法(mm)	438.2(W) x 553.7 (D) x 42.4(H)
重量(g)	8,200
動作条件	10°C ~ +35°C
電源	内蔵AC電源
消費電力※	アイドル時 38.75W 高付加時 103.39W
動作時許容周辺温度	10°C ~ +35°C

※ 高付加時の定義: stressコマンドによりCPUへ100%の負荷をかけた時の最大値

# お問い合わせ

法人のお客様  
お問い合わせ窓口

営業部

Tel 03-5213-4370

Fax 03-3221-3766  
sales@plathome.co.jp

購入後の  
お問い合わせ窓口

カスタマーケア

Tel 03-5213-4372

Fax 03-3221-0882  
support@plathome.co.jp

オンラインストア

ぷらっとオンライン

http://online.plathome.co.jp  
biz@plathome.co.jp  
Tel 03-5213-4380  
Fax 03-3221-2580

代表

管理部

Tel 03-3221-3200  
Fax 03-3221-3733

## ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F  
http://www.plathome.co.jp/

本カタログに記載の商品については、当社営業部もしくはオンラインストアにてご購入・ご相談いただけます。上記までお気軽にお問い合わせください。

記載の価格は全て2013年8月現在のものであり、変更される場合があります。最新の価格についてはお問い合わせ下さい。

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品の仕様・外観は、予告なく変更される場合があります。

取扱店印